

2021 春季生活闘争・妥結情報

2021. 4. 6 ー 第 9 号 ー 連合北海道 春季生活闘争本部

2021 年春季生活闘争 第 3 回回答集計結果について

連合本部は、2021 年春季生活闘争につき、4 月 2 日（金）午後 5 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 妥結内容が確認できる 1,209 組合の 99% が定昇相当分を確保し、かつ、55% が賃金改善分を獲得。
- 第 3 回回答集計において、平均賃金方式で中小組合の定昇相当込み賃上げ率が全体を上回るのは、規模別集計結果が把握できる 2000 闘争以降では初めて！また、全体も前回集計を上回る。
平均賃金方式で回答を引き出した組合の加重平均は 5,463 円・1.82%（昨年同時期比 298 円減・0.12 ポイント減）となり、前回集計を上回った。300 人未満の中小組合は 4,639 円・1.84%（同 169 円減・0.09 ポイント減）となり、率で全体を上回る流れを維持した。
- 賃上げ分は昨年同時期および前回集計を上回る。
賃上げ分が明確に分かる組合の賃上げは加重平均で 1,675 円・0.57%（同 285 円増・0.11 ポイント増）と、昨年同時期および前回集計を上回った。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げは一般組合員を上回る。
加重平均で、賃上げ額は時給 22.52 円（同 6.35 円減）・月給 4,492 円（1,665 円減）、引上げ率は概算でそれぞれ 2.20%・2.07% となり、一般組合員（平均賃金方式）を上回った。
- 労働諸条件に関する取り組みは、年次有給休暇の取得促進、無期労働契約への転換促進、65 歳までの定年引上げ、テレワークの導入など、多岐に亘る項目で回答がみられる。

連合北海道は、4 月 5 日（月）午前 10 時点で取りまとめた回答集計は以下の通り。

- 回答引き出し組合は 52 組合となり、昨年同時期より 30 組合減となった。
 - 月例賃金の加重平均では、6,224 円・2.26%（昨年同時期比 610 円増・0.07 ポイント増）となり、全国の集計結果と比べ、額・率ともに上回り、率では 2% を超えている。
 - 300 人未満の道内中堅・中小では、同 913 円増・0.34% 増となり、全国の集計結果と同水準となり、率だけを見ると全国を上回り、かつ、2% を超えた。
- 北海道の地場中小組合の闘いは、これからが正念場である。連合北海道は、構成組織・地協と連携し、粘り強く交渉を続けている組合を全力でサポートをしていく。

【組合規模別賃上げ状況 2021 年 4 月 5 日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均妥結額 (定昇・ベア込み)	昨年実績額 (定昇・ベア込)	昨年同時期比
300 人未満	31 組合	2,817 人	4,464 円 (2.03%)	3,551 円 (1.69%)	913 円 (0.34)
300 人以上	21 組合	21,994 人	6,422 円 (2.28%)	5,985 円 (2.26%)	437 円 (0.02)
計	52 組合	24,811 人	6,224 円 (2.26%)	5,614 円 (2.19%)	610 円 (0.07)



◎2021 春季生活闘争北海道集計へのエントリー未報告の産別・地区ユニオンは、至急報告をお願いします。

◎妥結情報には、いただいた報告より一部抜粋して掲載しております。

◎要求・回答・妥結情報を連合北海道 2021 春季生活闘争本部までお知らせ下さい。
担当：山田・勝又・小野寺・渡辺・（TEL:011-210-0050 FAX:011-272-2255）